
1 5 1 1. 乗員上陸許可申請

業務コード	内 容
CLP	乗員上陸許可申請呼出し
CLP01	乗員上陸許可申請

1. 業務概要

航空会社が当該空港到着前に、到着便名及び到着空港に係る乗員上陸許可申請情報をシステムに登録し、入国管理局に対し乗員上陸許可申請を行う。

また、本業務により乗員上陸許可申請情報の変更も可能とする。

(1) 「乗員上陸許可申請呼出し（CLP）」業務の場合

到着便名及び到着空港に係る乗員上陸許可申請の変更を行う場合に、乗員上陸許可申請情報を呼び出す。

また、事前に行われた乗組員氏名表報告（NLRO1）業務により登録された乗組員氏名表情報を呼び出すことも可能とする。

(2) 「乗員上陸許可申請（CLPO1）」業務の場合

到着便名及び到着空港に係る乗員上陸許可申請の登録、変更を行う。

2. 入力者

航空会社

3. 制限事項

なし

4. 入力条件

(1) CLP業務の場合

(A) 入力者チェック

①システムに登録されている利用者であること。

②乗員上陸許可申請DBから情報を呼び出す場合は、乗員上陸許可申請DBに登録されているCLPO1業務を行った入力者と同一の利用者であること。

③乗組員・旅客情報DBから情報を呼び出す場合は、乗組員・旅客情報DBに登録されているNLRO1業務を行った入力者と同一の利用者であること。であるか、入力された航空会社（便名先頭2桁）において、予め空港単位に登録された代表利用者、または乗組員委託先利用者と同じであること。

④システムに機長代行者として登録されている利用者であること。

(B) 入力項目チェック

(a) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」を参照。

(b) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」を参照。

(C) 乗員上陸許可申請情報DBチェック

(a) 入力された主たる便名に対する情報が1件のみ存在する場合

入力された主たる便名に対する乗員上陸許可申請情報が存在すること。

(b) 入力された主たる便名に対する情報が複数存在する場合

①最初の到着地空港が入力されていること。

②入力された主たる便名及び到着空港に対する乗員上陸許可申請情報が存在すること。

(D) 乗組員・旅客情報DBチェック

(a) 入港の乗組員情報を呼出す場合

(ア) 入力された主たる便名に対する情報が1件のみ存在する場合

入力された主たる便名に対する入港の乗組員情報が存在すること。

(イ) 入力された主たる便名に対する情報が複数存在する場合

- ①他国からの最終出発空港および最初の到着地空港が入力されていること。
 - ②入力された主たる便名、他国からの最終出発空港、最初の到着地空港に対する入港の乗組員情報が存在すること。
- (b) 出港の乗組員情報と呼出す場合
- (ア) 入力された主たる便名に対する情報が1件のみ存在する場合
入力された主たる便名に対する出港の乗組員情報が存在すること。
 - (イ) 入力された主たる便名に対する情報が複数存在する場合
 - ①他国からの最終出発空港および最初の到着地空港が入力されていること。
 - ②入力された主たる便名、他国からの最終出発空港、最初の到着地空港に対する出港の乗組員情報が存在すること。
- (2) CLP01業務の場合
- (A) 入力者チェック
- ①システムに登録されている利用者であること。
 - ②システムに機長代行者として登録されている利用者であること。
 - ③処理区分が変更の場合は、乗員上陸許可申請情報DBに登録されているCLP01業務を行った入力者と同一の利用者であること。
- (B) 入力項目チェック
- (a) 単項目チェック
「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」を参照。
- (b) 項目間関連チェック
「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」を参照。
- (C) 乗員上陸許可申請情報DBチェック
- (a) 処理区分が登録の場合
入力された主たる到着便名及び到着空港に対する乗員上陸許可申請情報が存在しないこと。
- (b) 処理区分が変更の場合
入力された主たる到着便名及び到着空港に対する乗員上陸許可申請情報が存在すること。

5. 処理内容

- (1) CLP業務の場合
- (A) 入力チェック処理
前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合に処理結果コード「00000-0000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。
合致しなかった場合はエラーとし、「00000-0000-0000」以外の処理結果コードを設定の上、処理結果通知出力処理を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)
- (B) 出力情報出力処理
後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。
- (C) 注意喚起メッセージ出力処理
- (a) 登録を行うには再送信が必要である旨の注意喚起メッセージを出力する。
 - (b) 乗組員・旅客情報DBから呼び出した情報がSITA経由のエラー分を除いた情報である場合に、未登録の乗組員が存在する旨の注意喚起メッセージを出力する。
 - (c) 乗組員・旅客情報DBから呼び出した情報が強制結合された情報である場合に、強制結合された情報である旨の注意喚起メッセージを出力する。
- (2) CLP01業務の場合
- (A) 入力チェック処理
前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合に処理結果コード「00000-0000

－００００」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、「０００００－００００－００００」以外の処理結果コードを設定の上、処理結果通知出力処理を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(B) 乗員上陸許可申請情報DB処理

①入力された処理区分が登録の場合は、入力された主たる到着便名及び到着空港に係る乗員上陸許可申請情報を作成し、乗員上陸許可申請を行った旨を登録する。

②入力された処理区分が変更の場合は、乗員上陸許可申請情報の変更を行った旨を登録する。

(C) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

(1) CLP業務の場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
乗員上陸許可申請呼出し結果情報	なし	入力者

(2) CLP01業務の場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
乗員上陸許可申請情報	処理区分が登録の場合	入国管理局
乗員上陸許可申請変更情報	処理区分が変更の場合	入国管理局